

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

将来は幼稚園の先生になりたいと、その勉強ができる大学を探して色々迷った時に、高校で同様の競明を開く機会があり、そこでいいなと思ったからです。校舎もキレイで、ビッグスクリーン制度もあり、安心できると思ったのもあり、志望校に決めました。

(2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

私は英語が一番自信がなかったのですが、英語の文法を参考書で基本から少しやってみようと思いました。単語も、少しずつ暗記していきまいた。でも、まだ受験は先だから思っていて、そこで夏期に取り組み始めたので、後に7月2日のに苦節しました。

[夏休み]

夏休みに入ると、初めて過去問を解いてみると英語だけじゃなく、現代史も全然だめだ、古典は特に解けていないことに気がついて、新しく現代史と古文の参考書を買って、何度も読み返しました。英語は、だんだん身に付いたのが分かってきたので、やるのが楽しくなってきました。特に新しく、古文の問題をくり返し解くことを始めたので。

夏休み後半になると、現代史も古文も成果が現れるようになっていきました。

[2学期～入試直前]

英語がかなりできるようになってきました。でも文法も単語も少しづつ忘れないでいこうと毎日くり返し読み返してました。過去問は過去数年の問題を何回も解きました。答えを覚えていても、なぜこの答えになるのかを考えながら解きました。できるようになったら次の年の過去問を順番に解いて、志望校に合わせた過去問をくり返していき、だんだんできるようになってきて、自信ももつていきました。苦手科目を克服できたし、過去問を何度も解いて、時間配分も決め、充分対策ができたので、当日は、今までやってきたことを出しきつた大丈夫! と思うと踏めました。入試が終わった後も全部出してきたから、落ちると悔しいとは思っていません。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は部活には入っていませんでした。私はテレビで笑いを見るのが大好きだったので、それが見られないように、リビングで勉強はしないようにして、朝から夕方までは、ずっと図書館で勉強しました。スマートフォンは、勉強時間を計って音記録するアプリを使い、モチベーションを上げました。受験前の1ヶ月くらいは、自分の過去問の点を見て、モチベーションを上げていたと思います。合格できたら卒業になりました。スマホの倍率などを検索したり、全くやる気がない時がありました。その時は前向きに勉強するとはしていませんでしたが、気持ちを切り替えることが出来ました。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は、親戚や友達に行きたいという気持ちがあったのががんばれたと思います。やれば必死かにかいよ、結果は変わると思うので、とてつらいと思うけど、がんばって乗り越えてほしいです。私は最後の模試の判定がE判定でしたが、模試の問題と、同様の問題は全然違いました! 判定だけと諦めるとはよくないです! 応援しています!